



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

**びっくりするような好プレーが勝ちに結びつくことは少ないです。  
確実にこなさないといけないプレーを確実にこなせるチームは強いと思います。**

早いもので明日より3月。令和4年度も残すこと一か月となりました。すでに学年末懇談会も始まり、学年職員から本年度のまとめのご報告をさせていただいているところです。

さて、今月の表題はイチローさんが残した数々の名言集のうちの一つです。私は4月1日に全職員に、この一年間、子どもたちに接する上で大切にしてほしい姿勢としてこの言葉を紹介しました。私が職員に求めたことは、この名言の後半です。「確実にこなさないといけないプレー」。普段の教育活動の大切さです。具体的には、事前の授業づくりを充実させ、見通しをもって年間を通じて児童に丁寧に接することで伸びや成長を見つけることです。そして、「褒める・認める・励ます」言葉がけを意識することをお願いしました。そうすることで、児童の自己有用感、自己肯定感が高まり、意欲をもって主体的に物事に取り組める姿勢が育っていくと考えているからです。

私は一日に何度か校内を巡回します。今日見た「普通の姿」を紹介します。6年1組は担任が英語を流暢に使い、グループでの英会話を楽しんでいました。6年2組は家庭科の授業で、渡す人に感謝の手紙と共に心を込めて最後の作品作りをしていました。家庭科ボランティアの皆様も一緒に参加いただき、とても良い雰囲気でした。5年生は両クラスともタブレットを用いたプログラミング学習をしていました。プログラム中のある数字を操作すると様々な多角形が描けます。どの子ども、思い描いた多角形を画面に出そうと集中していました。4年生は、1・2校時に1組、3・4校時に2組が、理科室で水が凍る時の温度変化を追っていました。温度計で読んだ数値を記録しながらグラフにプロットして時間の経過と温度変化の関係を探っていました。「高学年」の雰囲気を感じました。3年生は両クラスともタブレットを使ってローマ字の入力をしていました。ICT支援員さんも授業に加わり理解が高まっていました。本当にこの数年間でタブレットが身近なものになりました。抵抗なく使いこなす子どもたちに頼もしさを感じました。2年1組はソプラノリコーダーで「シ」の音を奏でる練習の最中でした。吹き込む息の強さを教わり、意識しながらきれいな音を目指して取り組んでいました。2年2組は校庭でボールやフラフープを使ったゲームにいそしんでいました。「ルール」を守りながら体を思い切り動かしていました。1年生は共に座学の授業でした。良い姿勢で先生の話聴く姿に、この一年間の成長を感じました。来春入学してくる新1年生に、授業の受け方の手本としても紹介できそうでした。個別支援級は話し合い活動の最中でした。私が後ろから入っても気をそらさずに取り組めました。個別学習で頑張ったプリントファイルの厚みが、努力の成果を物語っていました。一通り見終え校長室に戻ったとき、学習している教室の雰囲気、担任と子どもたちの関係の良さを肌で感じ、充足感を覚えました。

4月に火入れをしたおでん鍋。間もなく完成です。すべて具材も違います。温め方も異なります。しかし、どの鍋も二つとない美味に仕上がっているようです。ここに至るまでには保護者、地域の皆様のご協力があったことも実に大きいです。深く感謝申し上げます。卒業する6年生は中学校で、在校生は新たな学年とクラスで、来年度さらに自分を磨いていってほしいと思います。残り一か月ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。

校長 山崎 薫